

# イーサネットへのDLSwwイーサネット設定

## 内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

## 概要

この例では、イーサネットにデータリンク スイッチング ( DLSw ) イーサネットを設定します。

次の[ネットワーク図](#)では、[次の IP 接続の存在が想定できます。](#)

- ネットワーク 132.146.251.0 を指すスタティック ルート A および 132.146.252.0 を指すルータ B、または
- 設定済みのネットワークで動作するダイナミック ルーティング プロトコル。

## [はじめに](#)

### [表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

### [前提条件](#)

このドキュメントに関しては個別の前提条件はありません。

### [使用するコンポーネント](#)

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

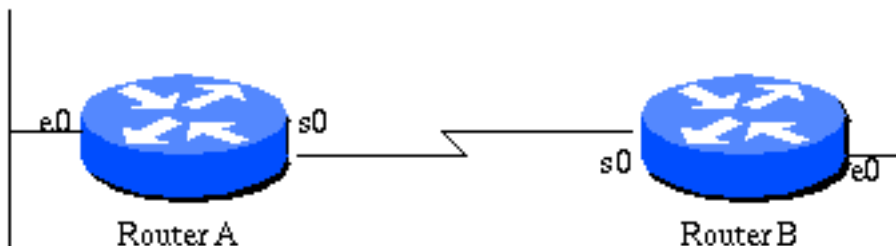
## [設定](#)

このセクションでは、このドキュメントで説明する機能を設定するために必要な情報を提供しています。

注：この文書で使用されているコマンドの詳細を調べるには、「Command Lookup ツール」を使用してください（登録ユーザのみ）。

## ネットワーク図

このドキュメントでは次の図に示すネットワーク構成を使用しています。



## 設定

このドキュメントでは、次に示す設定を使用しています。

### ルータ A

```
hostname RouterA
dlsw local-peer peer-id 132.146.252.1
dlsw remote-peer 0 tcp 132.146.251.1
dlsw bridge-group 1

interface Ethernet0
 ip address 132.146.252.1 255.255.255.0
 bridge-group 1

interface Serial0
 ip address 132.146.250.2 255.255.255.0
 bandwidth 336

bridge 1 protocol ieee
```

### ルータ B

```
hostname RouterB
dlsw local-peer peer-id 132.146.251.1
dlsw remote-peer 0 tcp 132.146.252.1
dlsw bridge-group 1

interface Ethernet0
 ip address 132.146.251.1 255.255.255.0
 bridge-group 1

interface Serial0
 ip address 132.146.250.1 255.255.255.0
 bandwidth 336

bridge 1 protocol ieee
```

注：この設定では、source-bridge ring-group文は使用されません。

## 確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

## トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

## 関連情報

- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)